

議会報告会報告書

平成26年10月28日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B 班

代表 下瀬 俊夫

平成26年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成26年 10 月 22 日（水） 19:00 ～ 20:50

2 開催場所

商工センター

3 参加人数（市民）

13 人

4 担当班議員名

（下瀬 俊夫）（岩本 信子）（笹木 慶之）（杉本 保喜）
（中村 博行）（長谷川 知司）

5 報告会次第

（1） 市議会議長挨拶

（2） 6月議会の報告

- | | | |
|-----------------|---------|-------------|
| ① 総務文教常任委員会 | （中村 博行） | 〔司会〕（笹木 慶之） |
| ② 民生福祉常任委員会 | （岩本 信子） | 〔記録〕（中村 博行） |
| ③ 産業建設常任委員会 | （杉本 保喜） | 〔受付〕（長谷川知司） |
| ④ 一般会計予算決算常任委員会 | （下瀬 俊夫） | |

（3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

【総務文教常任委員会】

- ① オート事業収益がマイナスなのに、公益事業をすることは何か約束ごとでもあるのか。

〔回 答〕

公営競技事業をする目的の中に地域公益に還元するということがある。施設の多目的トイレ設置など毎年約1千万円を充当している。

- ② 基本的にギャンブルの収益で、事業をしていくという姿勢は誤っている。健全な事業に転換をし、本来の形にすべきである。今のまま進めることが市民のためになるのか。

〔回 答〕

現在、約20億の負債があり、廃止すると様々な方面への保障等でさらに多額の費用が必要となり、廃止は難しい問題だ。船橋オートは税金を投入してまで存続しない。飯塚オートは民間委託により継続する方向性を打ち出している。なお、船橋は27年度で廃止するので、廃止の際の参考例にはなる。

- ③ 日本写真判定がいろいろな企画・事業をして売上向上を目指すようだが、5年後、10年後を見据えた事業計画はあるのか。

〔回 答〕

日本写真判定とは3年間の委託契約が決まっているだけで、事業計画は聞いていない。選手会など関係団体を含め、市役所全体でも売上向上のため、支援をしていくと確認がされている。

- ④ 日本写真判定はどうであれ、市としては何年後にはどうすると言った事業計画を出させ、その結果を検証する必要があると思う。意見である。

- ⑤ 学校給食を「親子方式にしてほしい」請願が継続審査になった理由は何か。

〔回 答〕

以前から研究、審議をしてきているが、委員会が何らかの結論を出すことによって、執行部に縛りをかけかねないという危惧もある。また、最近供用開始された光市や宇部市の給食センターの視察を予定しており、それも参考にして慎重に検討したい。

【民生福祉常任委員会】

- ① 病院事業の26年度の補正で予算化されたアスベストの除去費用などは、当初予算に上げているべきではないか。

〔回 答〕

数年前の調査ではアスベストはないとの認識であったが、今回発見された。基準の変更もあったようだ。建設関連の増額は発注外や医療機器の移設、その前後の費用、鳩などの防鳥対策等に想定外があった。

- ② 当然分かっていることではないか。計画段階で議員もきちんと指摘しないと当初予算が補正、補正で膨らむ。チェックをしっかりとしてほしい。アスベストの基準の変更とはどの部分か。

〔回 答〕

基準の変更があったとの説明を受けただけで、詳細は分からない。

- ③ 病院の建設費について計画通りにいかないのは分かっているが、実態が把握できていないのではないか。今後益々経営は苦しくなるので、見守ってほしい。

〔回 答〕

建設関連の 9 億円増についての理由、財源の資料提示は受けているので、今後もしっかりチェックしていく。

- ④ 建設関連の 9 億円増は 26 年度の予算に影響はないか。減価償却費が増えていくのではないか。

〔回 答〕

資本的収支で後年に影響は出る。今後十分注視をしていく。

- ⑤ 病院について、今後の事業・経営計画は立てられているのか。

〔回 答〕

一応立てられている。現在、医師数 23 人だが、当初 30 人での計画であったので変更されると思う。

【産業建設常任委員会】

- ① 厚狭駅の駐車場料金が高いから利用者が減る。安くして多くの人に利用してもらい、早く償還したらどうか。表示も問題である。細かいところまで読まないのが原因かもしれないが、500 円と思ったら 1000 円だった。

〔回 答〕

新山口駅などと比較して、安く明解な料金体系にすべきと考えている。

- ② 1 日 24 時間駐車で 1000 円、2 日間では 2400 円の高い料金設定が、

使用しにくい原因となっている。市民サービスを第一に下げる努力をしてほしい。

〔回 答〕

駅南の開発や特急さくらの停車などを含め、駐車場料金を研究していく。

③ 下水道料金が県下 2 位と高い理由は何か。

〔回 答〕

戸数に対し延長が長いという特徴があり、今後の研究課題である。

④ 下水と合併浄化槽の役割分担とはどういうことか。田舎まですべて下水にするのはどうかと思うが、下水をどこまで普及させるのか。

〔回 答〕

農業集落排水、公共下水と合併浄化槽の 3 つに分類される。(認可区域もあり) 公共下水をどこまで普及させるかである。希望ユーザーの把握や下水、浄化槽、農業集落排水の割合分担をどうするかが課題である。

⑤ 裁判になっている合併浄化槽の水利組合や改良区への負担金は、法的根拠がないが、市議会の実態を把握しているか。

〔回 答〕

今の段階で回答はできないので、今後、委員会で検討したい。

【一般会計予算決算常任委員会】

① 若者交流事業について「大人の若者がイス取りゲームをさせられ辱められた」など苦情ばかり聞いている。若者の本当の生きた声を反映させて、実行委員会が事業展開していると議会は認識しているのか。

〔回 答〕

委員会でも同様の色々な問題点を指摘した。実行委員会のメンバー構成が年齢的に十分とはいえない。公募しても 70 歳代の方のみの応募であり、若者のニーズを満たせるのか疑問だ。ただ市長が固い決意で今後も続けていきたいとの思いを持っているようだ。委員会でも全委員が「見直し」と評価した。

② 参加者のケガや事故などの対応はどうしているのか。

保険は加入者の意思を必要としているので、保険法違反に気をつけてほしい。

③ 防犯灯の LED 化は 5 年計画と聞いているが、来年度以降も同数の要望が上がってくると対応が困難になるのではないかと。予算化についてはどうなるのか。

〔回 答〕

今年度当初予算では、新設・更新で約４００灯、約７００万円が計上されたが、２６８灯の積み残しとなった。この設置費は３６９万円に対応でき、来年度当初予算で今年度と同額程度計上されれば、優先的に設置され十分解消できる。

- ④ 決算委員会で４８事業を選んだ基準は何か。委員の好みや趣味ではなく、事業費を含め市民にとって本当に必要な事業か、明確な基準を設けるべきである。

〔回 答〕

予算の審議で検討した１００項目程度の審査項目を、各会派から出ている委員が調整して４８項目にまとめた。予算決算委員会を常任委員会としたのは、予算審査の結果を決算審査に反映させるため、それを繰り返し、議会として政策形成サイクルに反映させるという趣旨からである。

【その他】

- ① 病院会計審議での岩本議員の「さじ加減を加えては・・・」発言の真意を聞きたい。あの場での「さじ加減」は、過剰医療、過剰投与をせよと捉えられても仕方がなく、公式の場での議員の発言は非常に重い。

〔回 答〕

市民病院については以前から大変危機感を持っていて、経営改善、経営改革の手法として言ったつもりで、決して不正行為・不正診療をせよと言ったのではない。言葉の使い方を間違えたもので、議員の資質を問われることになり、不徳の致すことで、議長に対し謝罪文を提出した。不適切な言葉を使い申し訳なく思っている。

- ② 今、地方議員の言葉が問題になっている。言葉の意味・使い方をきちんとしないと、議会不信や議会不要論につながるので気をつけてほしい。

- ③ ８月に議会が人口増問題で政策討論会をされ、本会議で政策提言をすると言われたが、いつするのか。

〔回 答〕

現在、課題を各常任委員会に投げかけている。できれば１２月までに結論を出したい。

（お断り）

検討の結果、各常任委員会で政策提言に向けて作業中であり、可能な限り速やかに取りまとめたいが、時期はまだ明言できない。（三浦副議長）